

城山本沢梅園の梅を用いた梅ジュース
「春の息吹 梅ほ乃香」のラベルデザイン



「梅ほ乃香」の背景とデザインプロジェクトの進め方

城山地区は神奈川県北西部、町田市や八王子に隣接し、神奈川県の水がめ津久井湖畔に位置しています。「梅ほ乃香」は、地元の方たちが丹念に育てた本沢梅園の梅の純粋な味わいを守るため、手づくり製法で仕上げられている梅ジュースです。六月には貴重な梅もぎを大地連携ワークショップとも連動して経験をさせて頂きました。その梅も「梅ほ乃香」の原料となっています。

七月には「食・企画開発実習A」を履修した生活デザイン学科三年生に前年度試作された「梅ほ乃香」を試飲してもらい、味わった梅ジュースの味と城山の地域特性、「梅ほ乃香」という商品名を捉えた梅ジュースのラベルデザイン案を五十五も提案しました。



プロジェクト概要

- テーマ
梅ジュースのラベルデザインを考案する。
- パートナー
城山湖里地里山観光振興協議会(相模原市)
- 担当教員
山崎 薫 准教授
(現代生活学部生活デザイン学科)
- 実施期間
平成26年4月～平成27年3月

七月から八月にかけて、城山湖里地里山観光協議会の方々に五十五案から実際に販売する「梅ほ乃香」のラベルとして採用する一案を絞って頂き、厳正な審査の結果、生活デザイン学科高城彩湖さんのデザインが選ばれ、九月二八日「しろやま 得の市」より販売を開始しました。「梅ほ乃香」は、相模原市政六〇周年産品としても承認を受け、様々なイベント等において販売し、好評を得ています。

提案から最終案の採択まで